

静岡県平成最後の首長たち

# 杉山薫・松野崇 肖像写真展「人間力と人間味」



人物を撮影をするに記録は大切なシャッターチャンスであるけれど、作者の目的や心の感動をカメラという絵筆で平面に置き換え表現しようと思っている。性格や状況描写と共に取り入れて今回はスローシャッターで人物の性格や人物像を表現しました。

10年間を1秒として40代は4秒、50代は5秒のシャッターで撮影。  
4インチ×5インチのネガフィルム(カメラ)で坂本龍馬の様に写しました。

## 静岡の顔

私の友人松野氏から一つの「提案」が持ち込まれました。極めて有意義な試みと大いに賛同し、応援させて頂くこととなりました。彼が試みようとするところは、現在活躍している県内23市の首長のご尊顔には「静岡県の首長」を創り出したいと発起したとのこと、私も友人として応援させていただくことにしました。もとより都市の大小の差はあれ、各首長の足跡と人間性に焦点を当てた肖像写真は初めての試みですが、全国に知られた肖像写真の大家 松野崇氏に期待したものです。ご尊顔に刻まれた人間味ある表情を一枚の写真の中に納めてみたいとの衝動にかられ、この度「静岡の顔」撮影を発起したのであります。平成の末期となった「現在」という歴史の中に「われらが首長」として活躍される方々のご尊顔を肖像写真家として日本を代表する杉山氏、松野氏の「カメラアイ」でとらえてみたいと賛同いたしました。

天野進吾

### 写真家プロフィール

#### 杉山薫

sugiyama kaoru



1948年 御殿場市に生まれる。  
1966年 父 秋雄に写真を師事。  
1972年 富士市比奈町に  
スギヤマ写真スタジオオープン。  
1977年 現在の富士市青島町に  
杉山スタジオオープン。  
1978年 写真研究団体 駿府クラブ入会。  
(師と仰ぐ梶実先生に出会う)  
1981年 日本肖像写真家協会に入会。

#### 主な受賞歴

- 東海四県大会文部大臣賞
- 東海四県大会総理大臣賞
- 日本写真文化協会全国展 特選
- 富士フィルム写真コンテスト 銀・銅賞
- 日本肖像写真家協会展 日肖写真賞

日本肖像写真家協会の会員として、歴史的節目の記録を残す事も会員の使命でもあります。私達の一番身近で慣れ親しみ易い政治家として町民の安全と幸福を願って、日夜努力されて来られた町長さん達の人間的魅力を写真で表現したいと思い、この企画をしました。

写真の持つ記録性にだけ留まらず、肖像写真家として人物の内面に踏み込んで被写体と写真家の個性が表現出来れば人物写真として成功したと思うが、それが難しいから、今も又被写体との格闘が続く。

●有限会社 杉山スタジオ 417-0047 富士市青島町158 tel.054-553-6000

#### 松野崇

matsuno takashi



1944年 静岡市に生まれる。  
前衛写真家 柴田隆二に師事。  
日本肖像写真家協会会員  
国画会写真部会員  
日本芸術学会会員

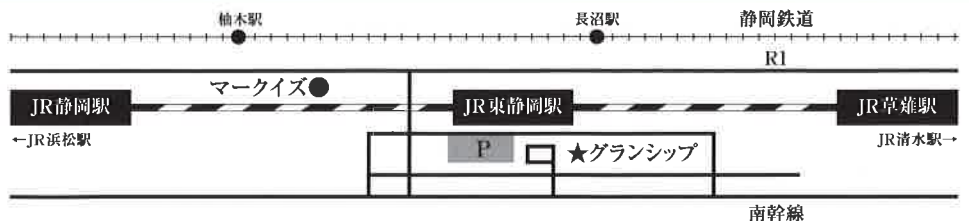
#### 主な企画展

- 静岡市清水区フェルケール博物館
- 静岡カントリー浜岡&  
ホテルカルチャーフロアー
- 北海道写真の町 東川
- フランス・パリKOUKギャラリー
- 銀座コダックサロン個展

写真は正確な学術的な記録として使用したりリアルな描写力を駆使して社会的な意識をしたものが報道写真であろう。写真

の記録は大切なシャッターチャンスであるけれど作品となると目的や表現が先行しなければ、ただの記録写真で終わってしまう。風景や花を上手に写しただけでは、図鑑的で作品にはほど遠い写真となってしまふ。作者の心の感動をカメラという絵筆で平面に置き換え人物ならその人の性格までも表現しようと努力する。状況描写と共に人物を光と影の造形に配置した写真も大切である。近年のデジタル化により過剰に表現した写真はリアリティが失われている。その分アナログの銀塩写真はリアリティが全面に表現されている。私はそんなアナログ写真にこだわってきたい。

●ミカサ写真館 420-0042 静岡市葵区駒形通1丁目2-4 tel.054-252-5611



グランシップ 422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3-1 tel.054-203-5710

※東静岡駅南口からメインエントランスまで徒歩約3分。東名高速道路静岡ICから6km、車で約20分。新東名高速道路新静岡ICから9km、車で約15分。静岡バイパス千代田上土ICから4km、車で約10分。駐車場有。